

企画展

# びぜん の華

— 備前焼と備前刀 —



平成24年4月27日(金) — 6月3日(日)

●開館時間 9時～17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(4月30日は開館します)

●入館料 一般500円 高校生300円 小・中学生無料 友の会会員無料

障害者手帳提示の方・付添者無料 団体(20名様以上、シルバーカード提示の方) 2割引

●主催 財団法人 林原美術館

●後援 岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送

●ギャラリートーク 会期中の毎週土曜日 14時から学芸員によるギャラリートークを行います

(ただし5月5日はスペシャルギャラリートーク「親子のための刀剣鑑賞講座」を行います)

備前辨禰水屋装  
桃山時代

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15  
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089  
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

国宝 太刀 銘吉房 鎌倉時代



企画展

# びぜんの華

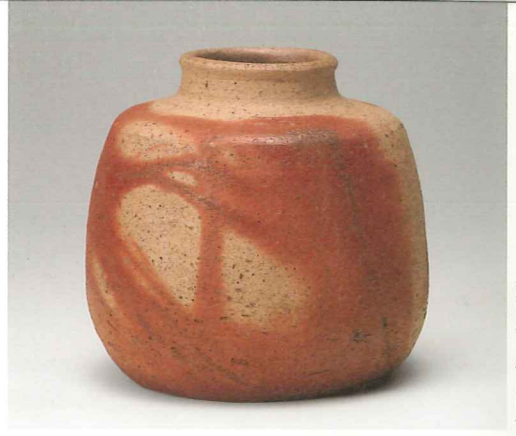
—備前焼と備前刀—

「備前」という名前がつく工芸品に「備前焼」と「備前刀」があります。備前焼はその源流を須恵器に持ち、千年以上絶えることなく焼き続けられてきました。一方、備前刀は平安末期から江戸時代にいたるまで、吉井川流域を中心に、数多くの名工を輩出し「日本刀の中の日本刀」と位置付けられています。

共に時代の影響を受け、盛衰がありましたが、今も備前焼は重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝は1名おられます。備前刀は鎌倉の華やかな<sup>ちようじ</sup>丁子刃に魅せられた刀工がその再現に挑み、今日も新たな備前刀を生み出しています。

本展では桃山時代を中心とした備前焼と、鎌倉時代の備前刀を中心にその時代の代表作を展覧し、併せて備前焼では金重陶陽氏をはじめとする歴代の重要無形文化財保持者5氏の作品と、日本刀においても重要無形文化財保持者の隅谷正峯刀匠と今泉俊光・大野義光両刀匠の作品を併せて展示いたします。これらの工芸品を通して、岡山の自然の豊かさと、伝統を引き継ぐ情熱を感じていただければと思います。

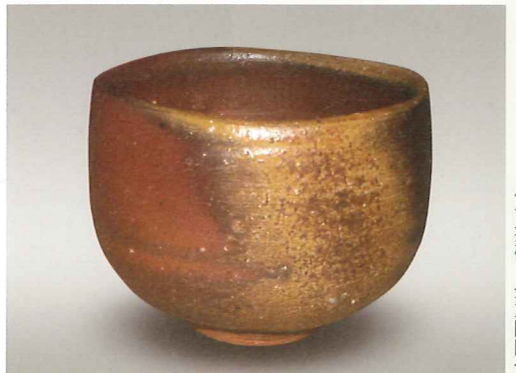
重要文化財  
太刀 銘一 鎌倉時代



備前緋襷茶入  
銘雷神 桃山時代



岡山県指定重要美術品  
備前矢筈口水指 桃山時代



備前茶碗  
金重陶陽作



備前穴くり大皿  
伊勢崎淳作

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\* 車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告 企画展「染付と赤絵の美」  
平成24年6月17日(日)~7月22日(日)

本展は林原美術館所蔵の陶磁器の中から、陶磁史を華やかに彩った中国・日本の染付と赤絵の作品を中心に紹介します。